



NIE 教育に新聞を

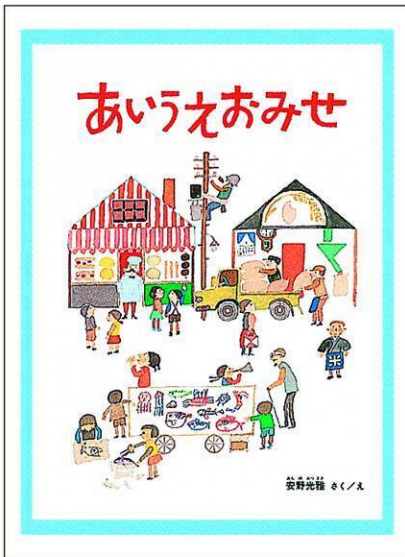
4

小学1・2年生向け

あいうえおみせ

安野光雅さく・え

あめや いしや いも 運送屋、煙突屋、おけ屋。これらの店は、どんな順番で並んでいるのでしょうか。実は、最初の1文字を順に読むと「あ・い・う・え・お」と五十音順になっています。この本では、見開きページの上半分に五十音順、下半分にはいろは順で、さまざまな店がずらりと描かれています。絵をよく見ると、思わずクスッと笑ってしまう発見があります。たとえば、煙突屋には赤い服を着た「あの人」、ほうき屋にはほうきにまたがるおばあさんの姿が。中には「こんなものまで売っているの?」という店や、店ではない建物が紛れていることも。また、たくさん並んだ品物がどの店にあるかを探さすページもあり、遊び心にあふれた楽しい絵本です。(福音館書店 1320円)



小学3・4年生向け

ゴロゴロヤマネコ不動産 なんだかあやしいおすすめ物件

藤重ヒカル作 樋口モエ画

ぼくは傘職人です。ある日、「ヤマネコ不動産」から手紙が届きました。「うでのいいかさ職人のあなた!」で始まる手紙は、傘屋を開くにぴったりなお店を貸します、という案内でした。「なんでぼくがかさ職人だって知ってるんだろう」と不思議に思いながら、その物件をこっそり見に行ってみると、そこへ現れたのはヤマネコ不動産の猫山さん。キラキラした目で、ドングリをバリバリ食べる怪しげな人物です。けれど、家賃が安かったので、ぼくはその店を借りることにしました。開店前日、戸の向こうから子どもの声がします。開けてみると、そこには三毛猫がいて…。若草色の手紙から始まる、三つの不思議なお店のお話が楽しめます。(福音館書店 1870円)



図書館へ



今月のテーマ いろいろなお店や市場登場

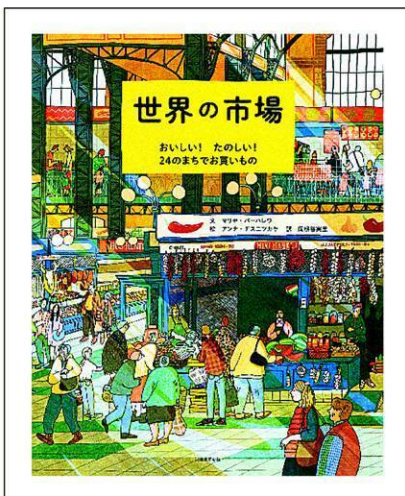
本や雑誌を売る書店、服を洗うクリーニング店、髪を切る美容院など、皆さんの身近にはいろいろなお店があります。今回は、世界各地の市場をテーマにした本や、作者の想像から生まれた不思議なお店が登場する物語などを紹介します。(山梨県立図書館 大平きよみ) 毎月第2週に掲載します

小学5・6年生向け

世界の市場 おいしい! たのしい! 24のまちでお買いもの

マリヤ・バーハレワ文 アンナ・デスニツカヤ絵 岡根谷美里訳

野菜や肉、魚などを売る「市場」に行ったことがありますか。「スーパーと何が違うの?」と思った人は、この本を開いて世界の市場をのぞいてみましょう。たとえばタイには、川沿いの店や船で物売る「アンパワー水上マーケット」があります。焼きたてのエビや、米粉とココナッツで作るお菓子「カノムクロック」などが手に入ります。このほか、電車の高架下にあつて雨でも安心なドイツの「イーゼ・マルクト」、粉から麺を作る様子が見られる中国の「玉林総合市場」など、12カ国24カ所の市場の名物や見どころが、カラフルなイラストとともに紹介されています。市場を通して、世界の食文化や暮らしが身近に感じられる一冊です。



河出書房新社 2112円

中学生向け

はてしない物語 上・下

ミヒャエル・エンデ作 上田真而子、佐藤真理子訳

ある朝バスチアンは、いじめっ子たちから逃げるため1軒の店に駆け込みます。扉に「古本屋」と書かれたその店は、天井まで届く本棚に本がぎっしり、床も机も本の山です。奥にいた店主は、バスチアンを見て怒鳴りました。「うちには子どもの本なんかおいてないし、ここにある本はおまえには売ってやれんから」。店主が読んでいた本を置いて別室へ行くと、バスチアンはその本に吸い寄せられるように近づき、手に取ります。題名は「はてしない物語」。その瞬間、バスチアンはどうしてもその本が欲しくなり…。小さな古本屋で出会った1冊の本が、少年を壮大な冒険へと導きます。現実の世界と本の世界が交錯する、ファンタジーの名作です。(岩波書店 上巻924円 下巻1012円)

